

平成 25 年度広島市民球場運営協議会 会議要旨

1 開催日時

平成 26 年 3 月 17 日（月） 15：30～16：30

2 開催場所

広島市役所本庁舎 14 階 第 3 会議室

3 出席者

(1) 委員（16 名）

山下 隆、深山 英樹、加藤 義明、山根 恒弘、山本 治朗、青木 暢之、
山本 一隆、石井 一清、中原 律子、石井 健一郎、川瀬 啓子、曾根 幹子、
下中 奈美、近藤 敏博、金井 誠太、松田 元

(2) 広島市

松井市長（挨拶後退席）、荒本副市長
西岡都市整備局長、早志都市機能調整部広島駅周辺地区整備担当部長
甲田市民球場調整担当課長

(3) 株式会社広島東洋カープ

桂部長

4 議題

- (1) 広島市民球場の運営状況等について
- (2) 平成 25 年度施設利用実績について
- (3) 2013 年カープ球団の事業実績について
- (4) 命名権について
- (5) その他

5 公開・非公開の別

公開

6 傍聴者

一般傍聴者	1 名
報道関係者	7 社

7 会議資料

- (1) 次第
- (2) 配席表
- (3) 委員名簿
- (4) 平成 25 年度広島市民球場運営協議会資料及びその参考資料

8 会議要旨

委員定数 20 名のうち出席者 16 名であり、定数の過半数を超えているため、協議会が有効に成立していることを事務局が説明し、議題を説明。

<議事>

事務局： それでは、定刻となりましたので、ただいまから平成 25 年度広島市民球場運営協議会を開催いたします。皆様方には、ご多忙の中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

私は、本日の進行役を務めさせていただきます、広島市都市整備局都市機能調整部広島駅周辺地区整備担当部長の早志でございます。どうかよろしく願いいたします。

それでは、開催にあたりまして、松井広島市長からご挨拶申し上げます。

市長： 皆さん、こんにちは。インフルエンザが流行っておりますが、私はインフルエンザになっていませんが、ちょっと風邪気味です。

今日は広島市民球場の運営協議会という事で、委員の皆様には、平素から本市の市政推進に御理解、御協力を賜り、この場をお借りしてお礼申し上げます。

さて、振り返りますと、昨シーズンは、なんとカープが 16 年ぶりに A クラス入りという事で、非常にワクワクした思いで、それ以上にですね、今日の議題に繋がります、スタジアムに来ていただく方の総数が年間 150 万人を超えるという状況が、オープン以来ずっと続いているという事です。

これは、ここに居られます松田オーナーをはじめ、カープ球団の皆様方の努力の成果という事で、感謝申し上げますとともに、引き続きお願いしたいと思います。そして、今年は、是非ともサミット、頂点を目指していただくという事をお願いしたいと思います。我々も一生懸命応援させていただきたいと思えます。

さて、マツダスタジアムの運営に関しましては、とりわけ、全国の自治体等から観光の PR イベントをやっていただくという意味で、多くの催し物があるのですが、それも、数にしますと、90 を超えるような催し物となっております。そして、今回さらに球団の方でご尽力いただきまして、レフト側のコンコースの方にイベントスペースをきちんと設けていただきました。これで、ますます、今言った取組が本格化するという事になるかと思えます。そういう意味では、野球ファンのみならず、スタジアムファンが増えていくという事で、多くの方々がこのスタジアムが、タウンですね、ボールパークタウン、街の如くですね、そういった充実を成長をしていくという動きになるんじゃないかなという気がしています。

それと同時に、球場周辺を少し見ていただきますと、この盛り上がりを見せております、にぎわい創出という事で施設群が着実に増えてきているという状

況ではないかと。

そして、東側は皆さんご存じのように、「ルネサンス」、「コストコ」それぞれ出来ておりますので、むしろ多くの方が交通混雑するのではないかと、大丈夫と言われるくらいの状況ではありますが、そういった事も起こらず、上手くお客をさばいていくというような状況であります。

そして、いよいよ西側であります。計画内容が確定いたしました。新聞等でもご存じかと思いますが、「カープ屋内練習場」というのが一番建物の近くに出来て、周りがこう見えるようになります。それから、「ゲストハウス型婚礼施設」、さらには、「分譲マンション」この3つの施設群がどんっと据えられるという状況になっています。

具体的な工事は4月から入っていきます。そういう意味で、着実に先程申し上げました、「広島ボールパークタウン」これが完成に向けて動き出していきます。

それと、もう一つ注目いただきたいのは、駅全体の陸の玄関を中心とした開発の動きであります。見ていただきますと分かりますけれども、Bブロック、Cブロックが28年度の完成に向けて動き始めました。二葉の里の開発もしっかりやります。そして、そこを結ぶ駅の自由通路、それから南口広場の整備、こちらも確実に進んでおりますけれども、いずれもここは広島の陸の玄関、顔をと位置付けでありますので、今こそこをしっかりとしたものにして、まちづくりを本格化していきたいというふうに考えております。

本日は、皆様方には、球場の運営状況、それから施設の利用実績、こういった事についてのご報告をさせていただき、これに関しての御意見をいただく、そして、繁栄する魅力ある球場づくりに活かしたいと思っておりますので、どうかご協力の程、よろしくお願いいたします。

終わりに、お集まりの皆様方の御健勝、御活躍を祈念いたしまして、冒頭の挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

事務局：引き続きまして、委員の皆様のご紹介でございます。

本協議会は、規則によりまして、球場の運営に関する報告、審議などを行うことを目的として、委員20名で構成されています。

時間の関係から、ご紹介は、お手元の「委員名簿」に代えさせていただきます。

なお、本日は、城納委員、永野委員、西川委員、並びに部谷委員の4名の委員は、所要によりご欠席となっております。

本協議会は、委員の過半数の出席にて成立することになっております。本日は20名のうち16名の委員にご出席いただいておりますので、有効に成立しております事をご報告いたします。

次に、事務局の職員につきましては、荒本副市長以下、担当の職員がお手元の「配席表」のとおり出席しております。

なお、本日は、議題の関係上、株式会社広島東洋カープの桂部長にも、事務局側に出席していただいております。よろしくお願いいたします。

ここで市長は所用がございますので、退席させていただきます。

市長： よろしくお願ひいたします。

(市長退席)

事務局： それでは、まず、お手元に配布しております資料の確認をお願いいたします。本日の「次第」、「配席表」、「委員名簿」それと別綴じでございます「平成25年度広島市民球場運営協議会資料」そして「参考資料」でございます。本日の会議は、お手元の次第に沿って進めてまいりたいと考えております。それでは、ここからは、深山会長に議事の進行をよろしくお願ひいたします。

会長： それでは、議長を務めさせていただきます。これより、議題に入ります。まず、議題1「広島市民球場の運営状況等について」です。内容について、事務局から説明をお願いします。

事務局： はい。お配りしております資料、これの1頁をご覧いただきたいと思ひます。「1 広島市民球場の運営状況等について」でございます。広島市民球場では、平成21年度から30年度までの10年間、広島東洋カープ様に球場の指定管理者として施設の維持管理等を行っていただいております。指定管理者の運営につきましては、カープ球団や、アマチュア野球のチーム等から収納する利用料金を財源として、維持管理費に充てるとともに、最低2億1,100万円を市に納入してもらうという利用料金制度を導入しております。それでは、「(1) 平成24年度指定管理経費等の収支状況」をご覧ください。収入(A)、支出(B)ともに、予算に比べ決算の方が上回っております。収入(A)につきましては、プロ野球の有料入場者数が100万人を超えた場合の加算金や、テレビ、ラジオの中継ケーブル利用料金等が見込みを上回った為、予算よりも決算が約4,300万円上回った事になっております。一方、支出(B)につきましては、下から2行目の「その他」、これは施設の維持管理経費等でございますが、経費節減等に努められた結果、約900万円決算額が予算額を下回っております。その結果、下から3行目の「市への納付金」の決算額が予算額よりも、約5,200万円上回る結果となりました。市では、この納付金を球場建設にあたり発行した市債の償還財源に充ててお

ります。

続きまして、「(2) 観戦環境の改善等」についてでございます。

これにつきましては、2頁の上段に配置図を載せておりますので、それも合わせてご覧いただきたいと思っております。

「ア エレベーター増設【市整備】」という事でございます。

現在、広島市民球場には、来場者が使えるエレベーターとして3機ございます。

車椅子利用者の専用席、それからグループ席等の増加という事で、車椅子、ベビーカーの利用者、それから、高齢の方の利用者数が伸びております。

従いまして、開門時、それから試合終了時にですね、エレベーターに殺到されるという事で、混雑が著しい。ですから、エレベーターの増設要望がかねてからございました。

これを受けまして、現在整備を進めておりますエレベーターですが、車椅子を3台、ストレッチャーならば1台搭載可能であると。着床階につきましては、1階から6階までの全ての階に停まる事としております。

なお、4階は来場者が入れるフロアがございませんので停まりません。事業費は約1億6,000万円、完成時期は今年の5月を予定しております。

次に、「イ レフト側イベント広場新設【カープ球団整備】」でございます。

これは、先程市長の挨拶の中でもありました広場でございます。

現在、一塁側のコンコースに接続して、これもカープ球団様の方で整備されましたイベント広場がございます。カバのオブジェがありますので、通称「カバ広場」と呼んでおりますが、先程ありましたように、全国各地の物産店等のイベントが非常にたくさんあるという事で手狭である。従って、この度写真にあります広場を増設されました。真っ直ぐ伸びておりますのがコンコースでございます。その左側の長方形で広場がございます。この事でございます。事業費は4,400万円、完成時期は25年12月という事で、もう整備済みでございます。

次に、「ウ コカ・コーラテラスシート改修【カープ球団整備】」でございます。

現在、市民球場には、グループ席として15種類、約1,700席がございます。このうち、6階部分にあります、コカ・コーラテラスシートについて、身体に無理のかからない新開発のクッションシートにリニューアルをされると。それから、合わせてグラウンドを見やすいよう、フェンスをネットから強化ガラスに改良されると。それと、席数もですね、現在の370席から440席に、70席増えるという事でございます。事業費は約1億円、完成時期は今月という事でございます。

以上で説明を終わります。

会 長： ただいま、議題について説明がありましたが、ご質問やご意見があれば願

いします。

それでは、引き続き、議題2の「平成25年度施設利用実績について」から、議題5の「その他」までを一括して、説明をお願いします。

なお、議題3の「2013年カープ球団の事業実績について」は、広島東洋カープの桂部長からご説明をお願いします。

事務局： 続きまして、2頁の「2 平成25年度施設利用実績について」でございます。

「(1) 施設利用日数」25年度におきまして、プロ野球興行で86日、高校野球等のアマチュア野球で67日、「来て見て乗ってみんな祭2013」等のイベントその他で12日、それから、無料でコンコースを開放しておりますが、これが87日。それから、予定はしておりましたが、試合等が出来なかった雨天中止等という事で日数を確保しておりました23日、合わせて275日を利用しております。

「(2) 球団自主事業等」という事でございます。

コンコース開放81日、人数として19,961人。次にカープ球団様でガイドを付けられて有料でご案内させていただきますスタジアムツアー、これが54日、5,753人。それと、広島市立の幼稚園、小学校、中学校の児童、生徒等を対象にした無料の社会見学、これで日数17日、人数2,660人という事でございます、合わせて日数で152日、人数で28,374人の利用がございました。

続きまして、3頁をお開きいただきたいと思います。

「(3) プロ野球興行時の来場者動向」という事でございます、平成21年度から毎年9月のデーゲームにアンケート調査をしております、それを例年で取りまとめたものをご説明いたします。

「ア 調査概要」です。平成25年度におきましては、9月14日(土)巨人戦でございました。ほぼ満員の32,047人の来場者がありまして、2,300枚ほどアンケート調査用紙を配布いたしました。有効回収率は49.2%でございます。個別に調査結果をご説明いたします。

「(ア) 性別」でございます。女性の割合が増加傾向にありまして、平成24年度以降は4割を超えております。

「(イ) 年代」であります。30歳代と40歳代を合わせると、概ね5割以上となっております。50歳代以上の割合が増加傾向にございます。

続きまして、4頁をお願いいたします。

「(ウ) 来場者住所」でございます。

グラフの中で平成22年それから23年度、この両年度につきましては、県外からの来場者の割合が5割を超えております。これは、調査日が阪神戦でございましたので、比較的近距離にある近畿地方等からの来場者が多かったのではないかと考えられます。

その他、25年度も含めまして、広島市内、市外からの来場者は約7割となっております。これは、一つには、球場がJR駅に近いという事で広域的な集客力が高いのかなと考えております。

「(エ) 来場回数」でございます。約7割はリピーターでございまして、6回以上のリピーターが約3割という事で、非常に高い値になっております。5頁をお開きください。

「(オ) 野球観戦後の交通手段」でございます。

平成21年度から24年度にかけて、**「自家用車」**の利用割合は減少傾向にありました。一方で、**「公共交通機関」**の利用割合は増加する傾向にございました。

しかし、平成25年度においては、**「自家用車」**の利用割合が増加し、その一方で**「公共交通機関」**の利用割合が減少しているという結果となっております。これは、コストコにプロ野球観戦者用の駐車場が昨年200台オープンいたしましたして、球場がオープンして以来、最大の駐車場を備えるに至ったという事で、自ずと車利用が増えたのかなと考えております。

次に**「(カ) 観戦人数」**でございます。

約7割が2人から4人までのグループでございまして、5人以上のグループの割合は約2割となっております。グループ席の利用も非常に多いという事を聞いておりますので、そういった結果になったのだと考えております。

次に、6頁をお開きください。

「(キ) マツダスタジアムの評価」という事でございます。

グラフを一目見て感じられると思いますが、**「満足」**、**「やや満足」**の割合が**「不満足」**、**「やや不満足」**の割合を大きく上回り、高い評価を得ております。特に、グラフの一番下の**「総合的な満足度」**というところがございまして、**「満足」**、**「やや満足」**を合わせますと、9割を超えております。非常に満足度の高い球場であろうという事でありまして。

7頁をお開きいただきたいと思います。

ここには**「(ウ) その他」**として、アンケート調査に伴っていただきました自由意見を載せておりますが、ここにつきましては説明を省略させていただきます。

以上でございます。

事務局： それでは、議題3「2013年カープ球団の事業実績について」説明をさせていただきます。

資料の8頁をご覧くださいと思います。

「(1) プロ野球入場者数」でございますけれども、新球場5年目でございますけれども、皆様の支援をいただきまして、本拠地球場、その他球場合わせて、合計入場者数が1,565,598人となりました。前年比24,060人の増加となっております。

「(2) 経営状況」につきましては、株主総会承認前の数値ではございますけれども、売上高は、10,662,908,000円となりました。前年比は355,844,000円の増加となっております。また、当期純利益は260,463,000円となりました。

「(3) 地域貢献活動」でございますけれども、活動の合計件数が335件となっております。その詳細につきましては、参考資料として別途添付させていただいておりますので、ご覧いただきたいと思います。

今後とも積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

以上でございます。

事務局：引き続きまして、「4 命名権について」ご説明いたします。

命名権制度は、いつまでも素晴らしい球場として維持できるよう、計画的に大規模改修等を行い、環境整備に充てる財源を確保する為に導入したものでございます。

「(1) 契約概要」でございますが、平成21年のオープンから5年間、今月末まででございますけれども、マツダ様に命名権取得者となつていただき、「MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島」略称として「マツダスタジアム」と今まで呼ばれてまいりました。来月からの5年間の命名権取得者につきましては、昨年の公募を行いました。引き続きマツダ様に命名権取得者としてお願いをする事となりました。命名権名称につきましては、全国的に認知度が高く、利用者、利用来場者等に慣れ親しまれてきた、これまでの名称が継続される事になりました。

9頁をお開きください。

「(2) 社会貢献活動」でございます。

命名権取得者であるマツダ株式会社は、球場を核として地域に貢献するパートナーとして、様々な社会貢献活動に取り組んでおられます。

「ア 平成25年度実績」という事でございます。

「(ア) ナイター照明の広島県営林J-VERによる運営」という事でございます。

広島市民球場のナイター照明が消費する電力これを発電する際に発生するCO2約70トンを広島県営林でオフセットをするというものでございます。具体的にはCO270トン、県営林で吸収してもらうために、県営林の間伐と整備費相当を負担されるというものでございます。

次に、「(イ) 福祉車両の贈呈」という事でございます。これは継続してこれまで広島市民球場の来場者100万人毎に福祉車両を贈呈されているものでございます。平成25年におきましては、6月18日に累計700万人を達成された事から、社会福祉法人天友会広島南作業所へマツダMPV23Sオートステップ車を贈呈されております。

次に、「(ウ) 球場周辺の清掃美化活動」という事で、プロ野球シーズン中に、

マツダ株式会社の社員とその家族により、球場周辺の清掃を2回、418人が参加され実施されております。

「(エ) ヘリテージコーナーの設置」という事でございます。これは下の方に写真がございますけれども、広島市、カープ球団、マツダ株式会社の歴史等を展示するコーナーを球場3階コンコースに設置されております。

「(オ) 球場の情報発信」という事で、マツダ株式会社のグローバルオフィシャルWEBサイト等各種媒体を通じて、球場の情報を発信されております。次に、「イ 平成26年度計画」でございます。

ヘリテージコーナーについては、リニューアルの実施を現在予定されております。その他の項目につきましては、平成25年度と同様の事業を実施される予定でございます。

続きまして、10頁をお開きいただきたいと思います。

「5 その他（広島市民球場の周辺地区開発の推進）」でございます。

この事業は、民間の経営ノウハウや仕組みを活用して、プロ野球が開催されない日も、にぎわいを創出する集客施設を整備するというものでございます。

本市がプロポーザルを行いまして、事業者を募集しました。平成20年度に三井不動産株式会社を開発事業者として決定しております。

資料の1番後ろの頁に、三つ折りにしておりますパースを付けておりますので、こちらも合わせてご覧いただければと思います。

まず、マツダスタジアムの東地区、このパースで言いますと、右上の方でございます。青い字で書いてありますが、コストコとルネサンスにつきましては、平成24年度にオープンしております。それと、ボールパークレジデンス、これにつきましては、2月に竣工いたしました。

次に、球場の西地区、これはパースの中では赤い字で書いておりますけれども、この計画につきましては、昨年12月三井不動産株式会社の方から提出がありまして、本市が承認し、もう新聞等でご存じの事と存じますけれども、整備が今後進められていくというものでございます。

まず、カープの屋内練習場という事でございますが、こちらにつきましては、カープ様の方で土地を取得され、施設を整備、運営されるという事でございます。

この施設は、コンコースと接続されており、練習風景が見学できるギャラリースペースを設けられるという事でございます。主にカープ球団の一軍の練習場として使われますが、野球教室等にも提供したいという事でございます。この練習場の中には、45m近くの練習場、人工芝でございます。それとブルペンが4箇所設置されておりまして、建物の外には球場にいらっしゃいます、身体障害者の方用の駐車場を16台確保すると、合わせてタクシー待機場所として、30台分のスペースを確保されるという事でございます。

次に、ゲストハウス型婚礼施設というのがございます。

これは、土地は、三井不動産株式会社なのですが、それを定期借地によりま

して、佐賀県に本社があります、アイ・ケイ・ケイ株式会社が婚礼事業を行ってまいります。

ゲストハウス型というのは、この建物を貸し切って挙式を挙げるといったスタイルでございまして、パースにご覧なれるように、非常に緑が多い潤いがある施設となっております。また、結婚式とは別に、レストラン、カフェこういったものが設けられますので、一般の方も利用できるという事でございます。

それから、ボールパークレジデンスⅡ、これはいわゆるマンションでございまして、三井不動産レジデンシャル株式会社が土地を取得し、建設し分譲を行うというものでございます。15階建てで分譲戸数は112戸、計画居住人口約400人という事でございます。

11頁をお開きください。

「(3) 総事業費」先ほどの事業に要する総事業費、約66億円となっております。

次に、「(4) スケジュール」でございしますが、カープ屋内練習場は4月着工、今年10月竣工で11月オープン。それから、ゲストハウス型婚礼施設も4月着工、来年1月に竣工して来年2月にオープンと。それから、ボールパークレジデンスⅡこれにつきましては、7月に着工して、2年後、28年2月に竣工する予定であるという事でございます。

以上でございます。

会 長： ただいま、議題2から議題5まで通して説明していただきました。何かご質問、ご意見がありましたらお願いします。

委 員： ちょっとお尋ねしたいんですけども、今ご説明を聞いて大変魅力的な観戦環境、周辺環境になるのだと思って、今からワクワクしますけれども、1点、1頁のレフト側イベント広場新設という事で、ここはイベント等にも色んな事に使われるんだと思うんですけども、これは使用料はどういうふうになっているんですか。

事務局： 無料であると聞いております。

委 員： 競争が激しいですよ。

委 員： ちょっと説明を加えますと、カバ広場になっておりますけれども、今現在は3月23日のオープン戦でお披露目しますけれども、ここにはもうゴリラの像があって、ゴリラのお母さんがこうやって、こういうふうに皆を抱えるような感じのゴリラ像が置いてありますから、これからおそらく「ゴリラ広場」という名前と呼ばれて、そこで色んなカバ広場でできないところをあっちの方で、市町村PRとかそういうもので使っていただければというふうに、私どもは思

っております。

会 長： ありがとうございます。その他ございますか。ご意見、ご要望等があればお願いします。年々かなり充実してまいりましたので、あまりご意見がないようですが、よろしゅうございますか。

委 員： 質問してよろしいでしょうか。本当にくだらない事なんですけれど、「カバ広場」、「ゴリラ広場」ですか。このコンセプトと言いますか、この動物を色々置かれる何かその、今度はキリンでも出るのかなという気がするのですが。

委 員： 本当はゾウを作りたかったんです。でもゾウはちょっと大き過ぎるし、キリンも好きですけど、キリンは何mくらいだろう。実際の大きさにできるだけ近づけたいという事ですね、子どもさん対策ですね、どっちかという。子どもさんがカバの傍に行くとものごすぐ喜んで背中の上に乗られたり、もちろん試合の時だけでなく、コンコースの開放日だとか、社会見学で小学生の子ども達が来たりとか、ああいう時に、その動物が居て、その動物の像があって、その中で触ったり、乗ったり、写真を撮ったりする楽しさがあればいいんじゃないかと思って、だから、中途半端に他のものを作るよりも、そういう何かがあったら、子どもが寄って行って触ったり、できるだけ実物大に近いという事で、本当に近くできるだけ実物大に、ちょっと小さくはしていますが、そういう格好で、お子さんが喜んでいただける、小さいお子さんが喜んでいただけるという事を目指していつも考えております。

委 員： 説明を聞いて、非常に楽しい、ワクワクするようなアンケートでも出ているのですが、1つ心配なのが、3頁にもありますが、年代のところで非常に高齢者が多い。これは人口比率からいってもそうなのかもわかりませんが、30代以下の皆様に如何に将来を担う身ですから、魅力を持ってもらうかという何らかの今から試案というか、そういうものも必要なのではないかなと感じたのですが、いかがでしょうか。

委 員： そうですね。野球が一番強いところといいますのは、本当に40代、50代、60代が一番強いんです。ですから、他所の球場に行っても、おそらくそういうところが野球の視聴率とかそういうものを見たら、視聴動向ですか、傾向とかそういうふうにいるんだと思うのですが、どうしてもそっちが強いので、どうしてもここの人気が強いところがあるんですけど、どうしてもここ球場というのは、3世代という事でいつも頭に入れているんです。ですから、おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、そして孫、これが継承していく部分で、ずっとだから一度球場に来たら、カープファンになってこのマツダスタジアムファンになって、ずっとそれが一緒に何年先も一緒に見れるという球

場にずっと育てていきたいというふうに思っております。

だから、どうしても小さい子どもの時から、さっき言ったカバとかゴリラとか、そういうものもお子さんが来られて、小さい頃撮った写真を5年経った時に、「ああ、こんな事もあったんだ」と子ども心には分からなくても、お父さん、お母さんに見せてもらって分かって、「ああ、じゃあ行ってみようか」とか、そういう長い目でずっとじっくりじっくりものを、ファンを増やしていきたいなというふうに思っています。すみません、若い子も多いんですけどね。他所に比べたら多いんじゃないかと思うんですね。

委員： 私どももピンクリボンで積極的に広場を活用させてもらっている。そしてカバに対する子ども達の熱狂ぶりというのを目の当たりにしていますので、これも素晴らしいと思います。と申しましても、私イベント広場に行ってみたら本当にとっても広いんです。ちょっとこの図面では分からないくらい広くて、いつも使う側が、開放してくださるそちらの方にチャレンジをしるという、課題を突き付けられているように思えます。フィギュアもいろいろありますし。ですから、非常に刺激を受けてそれに対応するというふうな関係をこれからも続けていければと思っております。

それと、お子様の事なのですれども、実は子どもを2人連れて、親子で行って、本当は家族ぐるみになるととっても高いんですよ。そこを何とか、何か色んなあるところから寄付を募るとか、家族でもうちちょっと安く行けたらなと思っています。

会長： 何か変わった趣向、新しい趣向はありますか。

委員： コカ・コーラテラスのクッションの付いたシートですけれども、これはマツダの下請けのデルタ工業さんと協力して、これはデルタの持つ独特の吊るような技術のクッションです。ですから、車の技術をそのクッションに使ってみて、今ちょっとトライしてしていると。非常に私は、長時間座っても快適になるんじゃないかというふうに期待しております。

それと、前をガラスにしましたので、ここは非常に通りが良くなって、怖いくらいの光景が、結構高いですから、あそこは、というふうに思います。

色んな社会貢献を色んな形でやっていきたいと思っています。それ以外は。

委員： これで見ると、一人で行っているというのが、私の場合はほとんど一人で行くのですが、ちょっと寂しい思いをします。やはり、グループで行く楽しさがあるんですね。非常にそういうイメージで今日は報告を聞かせてもらいました。

それから、段々と駅から歩いて行くのに、お店も増えてきて、また買い物をしているお客さんも増えていると思うんですけども、今度また、三井不動産の色々な施設があつて。一つだけ駅前の再開発のところで、やはりカーブ、広

島球場を意識した何か企画があるのでしょうか。再開発の中で。

事務局： はい。今駅前の南口につきましては、BブロックとCブロックが工事を担当しているという状況でございます。球場に近い、駅により近いという事では、Cブロックの方がより人々の動線に近寄ったところになるんですけども。これは、少し将来の話になりますけれども、駅から球場へのいわゆるペデストリアンデッキというのを、市では計画を持っております。この中で、ペデというのは、今非常に駅から球場まで600mか700mの間を、いわゆる地上部分を歩いていただくという事で、特に試合が終わった後の帰りというのはかなり混雑をいたします。その混雑も非常に楽しいという一面ではあるかと思いますが、交通安全上の観点から考えれば、そうした将来的な2階建てのペデというのも市として考えていきたいと。Cブロックの建物の中にはですね、その球場ペデと接続できるように、予め2階部分ですね、Cブロックのいわゆるテラスといいますか、ベランダといいますか、そうしたものを再開発組合の方で先に作って、将来の球場ペデの受け皿とする、駅へ直結するというような計画を持っております。

以上でございます。

委員： 前々から思っていたんですけども、これは球団さんとは全然関係ないんですけども、駅を出た時の左側ですね、球場に向かっていく時のカープロードの看板が出ているんですが、非常に遠慮気味で、もうちょっと目立つようにならないのかなと思うのですが、もっとインパクトのあるものがないのかなと思うんですけども、どうなんでしょうか。

委員： これは、私がお答えします。あれはですね、JR西日本さんのご好意で作っていただいているもので、あれは全部JRの敷地の看板でやってらっしゃる、球場へ行くのを盛り上げようという形なので、私らもあまり要求はできない。

委員： 中途半端な格好でそう思っていたのですが、そうなんですか。

委員： ちょっと辛いところですね。

委員： そうなんですね。

委員： 好意ですから。

会長： その他ございませんでしょうか。
もしなければ、松田オーナー、抱負をお聞かせいただけますでしょうか。

委員： 抱負ですか。2月のキャンプに行きまして、今年はたまたま2日に行ったんですけれども、キャンプの練習を見ていた時に、ノックの練習で野手を見ていたんですね、たまたま。そしたら、野手で、「これ背番号、誰だったかいの」というような感じの状況で、自分の頭の中で見る内野手のイメージの、内野手というか選手と一致しないんですね。何でだろうかと思ったら、やはり、いつの間にか若手が下から上がってきたりとか、去年やった選手が怪我したりとか、そういう事で下に行っていたという事もあるんでしょうけれど、何かすごく若い選手の層が厚くなって、これは、自分が気が付かない間に、我々が目指している育成という、自分達の手作りの選手を作るという事が、徐々に実現されてきたんじゃないかなと。

それと、幸運な事に、去年のドラフトですごく素晴らしい選手達が入りまして、3名のピッチャーが若手のピッチャー、これは今年入ったばかりのピッチャーなんですけれど、それらがひょっとしたら、28名の一軍の枠の中に入ってきそうな雰囲気があって、若いピッチャー達もすごく競争、ベテランも巻き込まれた競争が今起きているというふうに、私は非常に感じたところなんです。

随分前に、この会合だったかどうか、私は覚えてませんが、私が子ども時代に読んだ、「巖窟王」の話も随分したと思うんですけれども、今は「モンテ・クリスト伯」と、私は子どもの頃は、「巖窟王」と言っていたんですけど、それで、その時の言葉に、一番最後だったと思ったんですけれど、「待て、そして希望せよ」「しかし、希望せよ」かどちらかなんですけれど。今年は「待て」はいいです。希望してください。

以上です。

会長： 何月か何ヶ月か前に、6月末までに貯金を。

委員： そうですね。これはね、あまりグズグズは言いたくないんですけれど、いつもね、6月までに貯金を10してくれたらね、随分違うんですよ。なぜかといいますと、4月の入りといたら、皆さんが協力していただきたいんですけれど、4月は15試合あるんですよ、地元で。これが4月の出足が悪いと、観客動員にも影響するんですよ。去年も4月が悪くて、9月は盛り上がってガーッと伸びたんですけれど、4月から盛り上がってほしいですよ、僕らは。よろしくお願いします。

委員： 先行予約は。

委員： 先行予約はしていますよ。

委員： 出足は。

委員： どうだったかな。先行はどうなんだろう。出足は中日戦なんですね。結構なところに行くんじゃないかと思っていますけど、結構。気持ち良く。

委員： 勢いを付けて。

委員： それと、JR西日本バスが赤い2階建てのバスを買ったらいいですから、秋にそれに乗って100m道路をやりたいもんですね。ちょっと言い過ぎか。希望せよ。

会長： もう少し時間がございますが、どなたかありますか。

委員： 私は南区のコミ協の方から来ています。私達に関係している球場の近くの各町内会の人達と色々意見交換するわけです。その中で、今私達に取り組んでいる活動は、それぞれの地区の安全、安心なまちづくり、いわゆる子ども達にとって、あるいは、お年寄りの人達にとって安全、安心なまちづくりを進めるという活動をしてきているわけです。そういう形の中で、今のマツダの球場周辺は、非常にたくさんの方が外部の方が来られるけれども、その辺の整備が非常に上手にできているという事で苦情が出ないんですね。だから、是非、たぶん地元で地域の人達との、ここでも書いてありますように、地域貢献活動という形で、たぶん会合を持ってらっしゃるんだろうと思うんですけど。各商店街とか、あるいは町内会長さん、是非、イベント等でも地域の安全まちづくりに、ご理解とご協力をお願いします。

会長： はい。それでは、時間より少し前ですけども、本日の運営協議会を閉会します。

皆様、本日はありがとうございました。

議事録署名者

深山 英樹

